

江別第一中学校 学校だより

純誠



教育目標

- ・自ら進んで学び未来を創造する生徒
- ・豊かな心を持ち互いに協力して生活を高める生徒
- ・強い意志と体力を持ち、進んで努力する生徒

令和2年10月31日号 第11号

進路選択の秋から冬へ

江別市立江別第一中学校
校長 新田 元 紀

◎ 冬の足音

校舎の周りのイチョウやナナカマドなどがすっかり色づきました。自然の作り出す黄色や赤は、厳しい冬に向かう前のひとときを鮮やかに染め上げます。

山や峠からは初雪の便りも届き始めました。

平地にも冬の足音がはっきりと聞こえるようになってくると、3年生は現実を見つめながらのシビアな選択を迫られるようになります。

◎ 進路選択の考え方

3年生は、11月末から12月の初めにかけて行われる二者懇談と三者懇談で受験校を決定します。

高校進学に関して、北海道では「公立優先」という考えが根強かったのですが、最近はどうでもよいようです。多くの私立高校では系列の大学を持っている場合が多いですから、今から目指す大学があるのならば、系列の高校に入学するほうが有利です。

公立高校も様々な大学の推薦枠を持っている場合があります。それぞれの学校でトップクラスの成績を持っていれば、推薦で大学に進学できる可能性があります。したがって、ギリギリついていける高校を狙うのか、余裕のある高校を狙うのかというのも選択の材料になります。

「どういう高校生活を送るのか」ということも考えなくてはなりません。ここで詳しく書くのは避けますが、いずれにしても高校卒業後の進路、職業生活までも見据えて選択することが大切です。

◎ 進路学習

1年生、2年生についても進路学習は大切です。ただ、「何点を取れば、どこの高校に入れる」といった「〇〇受験情報」のような受験雑誌で得られる知識だけではなく、「将来、どうやって生きていくのか」をしっかりと考える進路学習が必要です。そういった意味で、例年は、この時期に実際の職場に出向き職業体験学習を行っていたのですが、コロナ禍でできなくなってしまいました。……。

◎ コロナウィルス感染症警戒ステージ2

コロナ禍でいろいろと制限される中ですが、できるだけ通常の教育活動に近づけようとしてきました。しかし、報道によると札幌市と近郊の感染者数が増えています。道はコロナ感染の警戒ステージを「2」にあげました。

ここまでの経過で「小中学生は感染してもほとんどは重症化しないようだ」ということが耳に入ってきています。それは一つの朗報ですが、小中学生には家族がいますし、学校には教職員もいます。家族や教職員には持病を抱えている人もいます。緩みは禁物です。

道が警戒ステージを上げたことを受け、学校としては、文科省の「衛生管理マニュアル」に沿って教育活動を点検することになります。

◎ 冬へ～インフルエンザへの備えも

冬に向かいインフルエンザとの同時流行が心配されています。インフルの予防も基本的には、コロナウィルスの感染予防と同じです。「インフルには治療薬がある」とは言っても、特に3年生～受験生～としては罹患して無駄な体力と時間を使う必要もありません。ワクチンの接種も考えていただければと思います。

うがい、手洗い、3密回避、マスク着用等は継続したままの冬です。さらにご自愛を！